

公益社団法人 上伊那教育会

第4回 総会

期日：令和7年1月30日（木） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望』
- 3 会長挨拶
- 4 報告
 - (1) 信濃教育会臨時総会 報告
 - (2) 上伊那教育会理事会 報告
 - (3) 公益目的事業を行う外部団体等への助成金について 報告
- 5 協議
 - (1) 「あり方委員会」答申について
 - (2) 令和7年度に向けた上伊那教育会諸事業の改善・充実に関する意見・要望等について
- 6 諸連絡
 - (1) 研究紀要46集配布について
 - (2) 令和7年度教科等教育研究会の発足に向けて
 - (3) 令和7年度各種委員会委員候補自己推薦について
 - (4) 令和7年度教育関係年間計画の作成について
 - (5) 旅費の精算について
- 7 閉会の言葉



会長挨拶 赤羽会長

赤羽 隆 会長挨拶

ご多用の中、本総会へのご出席、誠にありがとうございます。令和7年も早一ヶ月が過ぎようとしています。本年度の登校日数も残すところ三十数日となり、いよいよ大詰め、まとめの時期です。

お陰様で、上伊那教育会も、本年度計画した事業や研修等も、予定通りに実施することができました。先週末も24日（金）に授業研修会、翌25日（土）には、郷土研究部研究発表会と、教育会にとって大切な2つの事業が成功裏に終わりました。代議員の皆さんも様々な面でご支援ご協力いただき、ありがとうございました。

授業研修会は、赤穂東小学校 金子明日海先生が2年2組の子どもたちと生活科で五平餅づくりでの授業実践で子どもの育ちを発表していただきました。その後、授業研修委員会の先生方のリードで、子どもたちの育ちをどう記録するかや日頃の悩みについて、グループ討議で語り合いました。また、新指導者飯澤先生からは実践をもとに、福井大学副学長の松木健一先生からは理論をもとに、授業づくりに関わるご指導をいただき、とても内容の濃い研修となりました。

郷土研究部研究発表会は、人文分野の発表は伊那市創造館で、自然分野の発表は教育会館で、郷土研究部専門委員の先生方が一年間かけて研究してきた成果を発表してくださいました。新聞やケーブルテレビでその様子が紹介されたことをご存知の方も多いかと思います。

さて、本日の総会は、私の諮問事項に対して、あり方委員会の先生方が半年をかけて検討していただいた答申を発表していただきます。

また、来年度に向けた上伊那教育会諸事業の改善・充実に関する意見・要望について協議も予定されています。代議員の皆様からも忌憚のないご意見をいただき、来年度につなげていきたいと思ひます。それでは、本日の総会、よろしくお願いします

報 告

(1) 信濃教育会臨時総会 報告 【登内 常任委員】

12月3日に開催された臨時総会について報告がありました。

(2) 上伊那教育会理事会 報告 【松崎 副会長】

1月7日に開催された上伊那教育会理事会について報告がありました。戦後80周年記念事業、上伊那教育会150周年記念事業等についても議論が交わされたとお話がありました。

(3) 公益目的事業を行う外部団体等への令和7年度助成金について 【藤澤事務局長】

申請のありました各種団体への助成金の決定額一覧表が提示されました。

また、教科等教育研究会へも助成しているので積極的に入会を勧めてほしいというお話もありました。



あり方委員会 池上委員長

協 議

(1) 「あり方委員会」答申について 【池上あり方 委員長】

赤羽会長からの諮問に対し、あり方委員会から答申がありました。

(2) 令和7年度に向けた上伊那教育会諸事業の改善・充実に関する意見・要望等について 【小幡 幹事長】

各校から寄せられた意見・要望、令和7年度の方が提案されました。



池上委員長より赤羽会長へ答申が渡されました。

<協議(2)の提案について質問・意見>

小幡幹事長の説明後、代議員から質問・意見を出していただきました。以下、3名の方の発言の要旨を掲載させていただきます。

○職能研修事業に関わって ～委員会での学びの中で～

- ・ 体育・保健研究委員会に何回かかわる中で授業研究会等に参加し、委員の先生方との意見交換を通して生徒の見方や捉え方を学ぶことができた。
- ・ 特に委員の実践からは大変刺激を受け、教科の専門性を高められたと感じている。
- ・ これから職場でもこの体験を伝えながら若い職員の参加を促していきたい。

＜西箕輪中学校 宮原代議員＞

○児童生徒育成事業及び研修のあり方について ～研修への参加を促進するために思うこと～

- ・ 郡の習字展の委員を務めた今年度、運営方法についていくつか工夫を凝らしてみた。一つは、職員が運んでいたパネル運搬を業者委託としたこと。これにより職員の負担を軽減することができた。
- ・ 研修のあり方について。今年度から代議員として職場の先生方に研修を紹介し参加を促してきた。研修の必要性は十分わかっているが、学校をあけて参加するということが非常に難しい状況にあると感じる。その打開策として、公開授業と研究会Ⅰを同日開催にしてみてもどうか。先生方が学びたい内容を自分から選んで参加する。そうすることで委員の募集の問題と先生方の参加のしやすさが解消されるのではないと思う。
- ・ 課題に対して難しいと言っているのであるならば何か手を打っていくべきだ。先延ばしにしていけばさらに難しくなるのではないだろうか。

＜伊那北小学校 梶田代議員＞

○郷土研究事業に関わって ～学校は子どもが育つところ。教育会は教員が育つところ。～

- ・郷土研究会には研究委員会と専門委員会2つがある。創造館等に所蔵されている貴重な郷土資料があるが、上伊那教育会会員であればそれを所蔵庫に入って見ることができる。素晴らしい特権だと感じている。研究委員会は、それら所蔵品を会員以外にも見ていただく等の活動・運営を行っている。専門委員会はさらに発展させ、次の郷土史のための基礎研究を四十数年続けてきている。専門委員は担い手が少なくなっている現実もある。
- ・どちらの委員も専門ではない人が関わってくれている。そういう方も長年関わっていく中で研究のやり方や方向が分かってくる。近年人が少なくなってきた今後この研究をつなぐことができなくなってしまうかもしれない。しかし、今年も若い人が新たに参加してくれた。初任研の先生が声をかけてくれたとのこと。「ひとにつなげる」このことを代議員の皆さんにもやっていただけたらと思う。
- ・学校は子どもが育つところ。教育会は教員が育つところだと感じている。上伊那教育会の150周年に向けて、郷土研を含む全委員会が盛んになっていくことを願う。

＜美篤小学校 田村代議員＞

○3名の発言を受けて、赤羽会長に総括をしていただきました。(要旨)

3名の先生方、ありがとうございました。生かせるところは生かし、持続可能な教育会ということを考えていきたい。そのために今すぐにとできることと中長期的に取り組むことに整理して取り組んでいきたい。現在来年度の委員を推薦していただいているが、そこでも自己推薦の先生方が増えている。あらためて活動を知らせていくことの重要性を感じている。

諸連絡

- | | |
|---------------------------|-----------|
| (1)研究紀要第45集配布について | 【伊藤 常任委員】 |
| (2)令和7年度教科等教育研究会の発足に向けて | 【小松 幹事】 |
| (3)令和7年度各種委員会委員候補自己推薦について | 【保科 幹事】 |
| (4)令和7年度教育関係年間計画の作成について | 【小幡 幹事長】 |
| (5)旅費の精算について | 【藤澤 事務局長】 |



松崎 副会長 閉会の言葉

松崎副会長

代議員の先生方、本日の出席、ありがとうございました。それぞれの学校では、一年間のまとめや来年度の方角を考える、そんな時期になってきたかと思います。教育会においても、先日の授業研修会や郷土研究発表会が終わり、ほぼすべての事業を行うことができました。これも、各校代議員の皆様のお陰と感謝いたします。

本日の総会では、本年度の教育会事業についての反省と、来年度への課題等について、ご協議いただきました。赤羽会長も総括でお伝えしましたが、出された意見については、次年度に繋げたいと思います。また、様々な教育会の事業について、代議員の先生方がご苦勞されていることも、お話を伺う中でしっかり伝わってきました。本当にありがとうございました。いただきました意見・要望や、あり方委員会の答申等を大切にして、今後の教育会の事業に活かしていきたいと思います。この総会も、あと1回を残すのみとなりました。年度末まで引き続きお世話になります。よろしくお願いいたします。

この後は、お疲れの中での運転になるかと思いますが、どうぞお気をつけてお帰りください。以上で、第4回総会をとじます。ありがとうございました。